

玉川学園高等部・中学部 スーパーサイエンスハイスクール(SSH)概要図

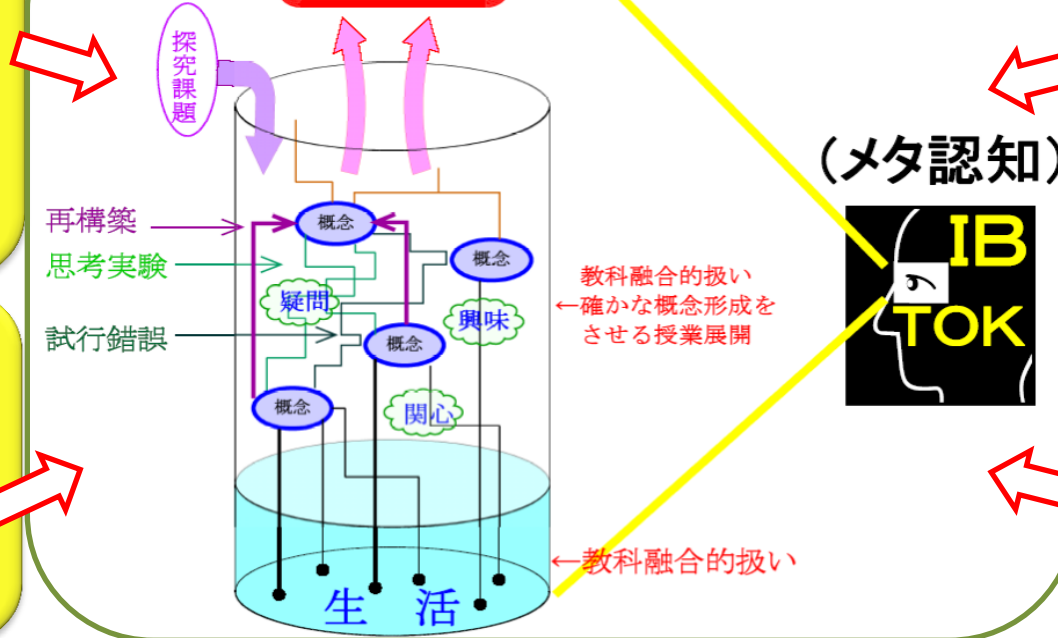
課題研究

- ・既得の知識や概念を再構成、経験との照合から科学的な課題の発見
- ・「わかりたい」ために試行錯誤し、概念を再構成。必要な知識を自ら獲得して課題を解決するという学びを成立させ、創造性に結びつける研究開発
(設定科目)
※「学びの技」、「SSHリサーチ科学」、「SSHリサーチ脳科学」、「TOK」

教科連携

- ・生徒の思考力、初見状況理解や抽象的知識運用の研究開発
- ・試行錯誤的に前進する力の鍛錬
指導法、教材、評価法の研究開発
(設定科目)
※「数理科学」、「理系現代文」
※「PL英語表現Ⅰ、物理・化学」

創造力



構成主義的授業

IBカリキュラム・指導法・評価基準・ATLを参考にした指導法・評価基準の検討

国際バカロレア(IB)のMYPとDP

(設定科目)
中1～高3までの通常の理科授業内で実施

高大連携

- ・科学に対する概念理解の深化や探究心の育成、高大接続の研究開発

- ※通常授業内での連携
(玉川大学工学部・文学部・脳科学研究所)
- ※学年講話
(玉川大学農学部・工学部)
- ※記念講話・研究施設見学
(玉川大学をはじめとした他大学、研究所、科学館等)

『国際バカロレア教育を参考にした創造力と批判的思考力を育成する学び』

創造力育成のため、IBを参考に、教科連携による確かな概念形成と科学的課題を見つけ試行錯誤し探究し論理的思考力を鍛える学習習慣と、国際舞台で有効なコミュニケーション力と、批判的思考力を身につけさせるカリキュラムや指導法や評価法を研究開発

